

[2人に1人が「がん」になる時代]

厚生労働省の発表によれば、生涯のうちに男性の約2人に1人、女性の3人に1人はがんにかかり、また3人に1人はがんで亡くなるといわれています。

働く世代の死因をみると、約40%が「がん」となっています。

ですから決して他人事とは思わずに、自分のこととして考えてみてはいかがでしょうか。

<検診で要精密検査といわれたら>

放置せず、検査を受けましょう。

大腸がんなどは早期発見であればほぼ100%近く治すことができると言われています。

<がんと診断されたら>

慌てないで、まずは確かなところで情報を集めましょう。

国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」は、患者さんやご家族の方をはじめ、一般の方や医療専門家、がん診療連携拠点病院の方々に対して、がんについて信頼できる、最新の正しい情報をわかりやすく紹介しているウェブサイトです。

各種がんの解説や治療方法、全国のがん診療を行っている医療機関などの詳しい情報が得られます。

◆国立がん研究センター「がん情報サービス」：<http://ganjoho.jp/public/index.html>

<がんについて相談したいと思ったら>

国が指定したがん診療拠点病院には、がん相談支援センターがあります。

*がん相談支援センターは「がん情報サービス」で調べることができます。

また、京都府には病院に属さない相談支援センターもあります。

聞きたいこと、分からないことがあったら気軽に相談しましょう。

◆京都府がん総合相談支援センター：<http://www.gansoudan-kyoto.jp/>

以上